

## 「乳がん術後連携パス」にご協力いただける先生へ

### 1. 対象患者について

乳がん術後連携パスの対象患者さんは、原則として以下のすべてを満たす方としていません。

- ・ 乳がん治癒切除術後
- ・ 告知済み
- ・ 放射線治療終了
- ・ 点滴化学療法終了
- ・ 術後6ヶ月経過
- ・ 直近の検査で異常なし

### 2. 診療していただく時期

術後6ヶ月以降を基本としています。

### 3. かかりつけ医の先生の初回診療日の確認（予約）

患者さんから「連携パス」導入の同意が得られれば、担当者から初回診療日の確認（予約）の電話をさせていただきます。予約が必要な場合は、予約日時をお知らせください。

### 4. かかりつけ医の先生の初回診療時と毎月診療時

初回診療時には、患者さんに以下のものを持参していただきます。

- ・ 乳がん術後連携パス（医療者向け）
- ・ 診療情報提供書
- ・ その他の資料一式

毎月診療時には、投薬と可能な範囲での検査等をお願いします。

別紙1「大阪医科大学附属病院における根治術後フォロー項目」を参考に、可能な検査項目について実施していただければ幸いです。その場合、大阪医科大学附属病院での検査を省略します。

また、患者さんには「乳がん術後連携パス」（患者用手帳）をお渡しし、自己チェックで気になることや日常の健康管理で気になることがあれば、かかりつけ医の先生に相談するよう伝えておりますので、よろしくをお願いします。

### 5. 大阪医科大学附属病院受診の前に

大阪医科大学附属病院定期受診前の診療時には、可能であれば診療情報提供書を記載していただき、患者さんにお渡しください。

## 6. バリエーションと対処法

バリエーション		対処法
再発が疑われるとき	症状がなく、差し迫った生命の危険がないと思われるとき	2週間をめぐりに一般・乳腺・内分泌外科受診
	症状がある、または差し迫った生命の危険があると思われるとき	電話連絡ののち一般・乳腺・内分泌外科あるいは救急外来受診
患側上肢の炎症	炎症の治療	抗炎症剤、消炎鎮痛剤の内服 安静
	上記の治療が無効のとき	直近の一般・乳腺・内分泌外科受診
内服薬（内分泌治療薬）による副作用	肝機能障害	2～4週間休薬後、肝機能を再検し、改善されていれば再開
		改善しないときは、2週間以内をめぐりに一般・乳腺・内分泌外科受診
	不正出血	婦人科・腫瘍科受診
		異常がなければ内服継続
高脂血症・体重増加	生活改善	
	改善しないときは、高脂血症治療剤の内服等	

## 7. その他

- ・ 投薬については、基本的にかかりつけ医の先生にお願いしております
- ・ 投薬間隔は1～3ヶ月毎（かかりつけ医の先生のご判断）でお願いします
- ・ 副作用等が疑われるときは、先生のご判断で適宜、投薬の中止・再開をしていただいで結構です
- ・ 投薬終了後の通院間隔はかかりつけ医の先生のご判断でお願いします（できれば3～6ヶ月毎）
- ・ 5年目以降のかかりつけ医の先生の診療は必要時（3～6ヶ月）にお願いします
- ・ 大阪医科大学附属病院での定期受診は10年目までとしています
- ・ 定期受診日以外でも必要があれば大阪医科大学附属病院の受診を患者さんに案内してください

## 8. お問い合わせ先

大阪医科大学附属病院

電話 072-683-1221（代表）